



2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月12日

上場会社名 株式会社ライフコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 8194 URL http://www.lifecorp.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 清水 信次
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 河合 信之 TEL 03-5807-5111
 コーポレート統括補佐兼財務本部長

四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績（2020年3月1日～2020年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	568,314	7.2	21,150	158.5	21,750	149.4	14,426	164.9
2020年2月期第3四半期	530,248	2.0	8,182	10.1	8,719	11.5	5,446	22.9

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 14,257百万円 (157.5%) 2020年2月期第3四半期 5,537百万円 (22.2%)

(参考) 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

売上高 2021年2月期第3四半期 551,233百万円 (7.2%) 2020年2月期第3四半期 514,145百万円 (1.8%)
 営業収入 2021年2月期第3四半期 17,081百万円 (6.1%) 2020年2月期第3四半期 16,103百万円 (5.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	307.82	-
2020年2月期第3四半期	116.20	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第3四半期	265,623	93,503	35.2	1,995.05
2020年2月期	262,053	81,360	31.0	1,735.94

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 93,503百万円 2020年2月期 81,360百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	-	20.00	-	20.00	40.00
2021年2月期	-	25.00	-	-	-
2021年2月期（予想）	-	-	-	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年2月期の連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	763,000	6.8	24,000	72.9	25,000	71.7	16,000	104.2	341.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期3Q	53,450,800株	2020年2月期	53,450,800株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	6,582,844株	2020年2月期	6,582,377株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期3Q	46,868,171株	2020年2月期3Q	46,868,947株

(注) 期末自己株式数には、「取締役向け株式交付信託」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式（2021年2月期3Q 90,300株、2020年2月期 90,300株）が含まれています。
また、株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。（2021年2月期3Q 90,300株、2020年2月期3Q 42,031株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結損益計算書関係)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により企業活動や個人消費が停滞し、依然厳しい状況にあります。更に、11月以降、全国的に感染者数が急増し、感染第3波と呼ばれる事態を迎え、今後の景気動向は予断を許さない情勢であります。

そのような経済環境にありながらも、当社グループの事業領域である食品スーパー業界におきましては、新型コロナウイルス感染症によってもたらされた生活習慣の変化に伴う需要の高まりが継続し、足もとの売上は堅調に推移しています。ただし、企業収益や雇用環境の悪化、個人所得・消費マインドの低下などが続いており、今後、食品スーパー業界も景気後退の影響を多分に受けることは避けられないと考えています。

ウィズコロナの環境下、当社グループは地域住民のライフラインとしての使命を果たすべく、お客様・従業員の安全・安心に繋がる様々な対策を講じております。全従業員のマスク着用、アルコール消毒液の店内設置はもちろんのこと、感染防止につながるキャッシュレス決済の推進、惣菜・ベーカリーのバラ売り・試食提供の中止による衛生管理の徹底にもいち早く着手いたしました。また、学校の一斉休校、外出自粛に伴う観光客の減少等の影響を受けた生産者様、メーカー様等への協力とフードロス防止の観点から、学校給食用の牛乳や銘産菓子の販売、産地応援セール等を実施いたしました。

当第3四半期連結累計期間のその他の主な取組として、近畿圏における商品供給力を質・量ともに高めるため、精肉加工に特化した堺プロセスセンターを3月に開設いたしました。また、当社が昨年から出店を始めたAmazonプライム会員向けサービス「Prime Now」の配送地域を、東京23区と都下4市に拡大、近畿圏も大阪市の21区と府下3市に拡大したことに加え、配送エリアのAmazonプライム会員のお客様は、当社が取り扱う商品をAmazon.co.jp(Webサイト、Amazonショッピングアプリ)からご注文が可能になる等着実に成長を続けております。当該期間の新規店舗としては、兵庫県西宮市に西宮北口店(5月)、夙川店(8月)、阪神鳴尾店(9月)及び大阪府大阪市に中崎町駅前店(11月)の4店舗を出店するとともに2店舗を閉鎖した他、既存店舗の宝ヶ池店、武蔵小山店、高津新作店、石神井公園店、水元店他、合計18店舗でお客様のニーズの変化に対応した改装を行いました。

当社グループの第3四半期連結累計期間の業績は、上述の改装効果や新規店舗、巣ごもり・内食需要の強さのみならず、おいしさを追求した各種商品施策等の成果が寄与し、営業収益は5,683億14百万円(前年同四半期比7.2%増)となりました。一方、販管費は、売上拡大に伴う人員増に加え、新型コロナウイルスの感染リスクと向き合いながら業務に取り組む従業員への緊急特別感謝金支給などにより人件費が増加、物件費も感染症対策費用や店内改修、配送運賃等により増加しました。しかしながら、売上総利益の増加がコスト全体の増加を大きく上回ったため、営業利益は211億50百万円(前年同四半期比158.5%増)、経常利益は217億50百万円(前年同四半期比149.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益144億26百万円(前年同四半期比164.9%増)となりました。

セグメントごとの業績は次の通りです。

(小売事業)

営業収益は5,676億50百万円(前年同四半期比7.2%増)、売上高は5,512億33百万円(前年同四半期比7.2%増)、セグメント利益は216億15百万円(前年同四半期比147.0%増)となりました。

なお、部門別売上高は、生鮮食品部門が2,346億66百万円(前年同四半期比9.6%増)、一般食品部門2,412億80百万円(前年同四半期比6.8%増)、生活関連用品部門503億75百万円(前年同四半期比6.9%増)、衣料品部門176億38百万円(前年同四半期比9.9%減)、テナント部門72億72百万円(前年同四半期比2.5%減)となりました。

(その他)

株式会社ライフフィナンシャルサービスの営業収益は17億37百万円(前年同四半期比22.4%増)、セグメント利益は1億34百万円(前年同四半期差1億67百万円改善)となりました。

(2) 財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、2,656億23百万円と前連結会計年度末に比べ35億69百万円増加いたしました。

流動資産は、731億80百万円と前連結会計年度末に比べ25億29百万円減少いたしました。これは主として現金及び預金が40億77百万円増加した一方、売掛金が34億52百万円、未収入金(流動資産その他)が45億80百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は、1,924億43百万円と前連結会計年度末に比べ60億98百万円増加いたしました。これは主として店舗の新設や土地取得などにより減価償却後の有形固定資産が前連結会計年度末に比べ59億68百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、1,721億19百万円と前連結会計年度末に比べ85億73百万円減少いたしました。これは主として短期借入金及び長期借入金の合計が169億36百万円増加した一方、買掛金が前連結会計年度末に比べ251億64百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、935億3百万円と前連結会計年度末に比べ121億42百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金が124億52百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の連結業績予想につきましては、2020年9月15日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、今後事業環境等の変化により、連結業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,213	17,291
売掛金	9,378	5,925
商品及び製品	23,853	24,425
原材料及び貯蔵品	179	190
その他	29,085	25,346
流動資産合計	75,709	73,180
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	85,405	85,715
土地	35,853	39,744
その他(純額)	18,970	20,737
有形固定資産合計	140,229	146,198
無形固定資産	3,146	3,176
投資その他の資産		
差入保証金	22,711	23,041
その他	20,300	20,101
貸倒引当金	△42	△75
投資その他の資産合計	42,968	43,068
固定資産合計	186,344	192,443
資産合計	262,053	265,623
負債の部		
流動負債		
買掛金	68,231	43,066
短期借入金	15,700	32,050
1年内返済予定の長期借入金	12,315	12,654
未払法人税等	3,528	5,915
賞与引当金	2,412	797
販売促進引当金	2,489	2,182
その他	29,531	28,680
流動負債合計	134,208	125,346
固定負債		
長期借入金	26,468	26,715
役員株式給付引当金	11	11
退職給付に係る負債	6,906	6,928
資産除去債務	4,971	5,193
その他	8,126	7,924
固定負債合計	46,484	46,772
負債合計	180,692	172,119
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,004	10,004
資本剰余金	11,613	11,613
利益剰余金	70,435	82,888
自己株式	△9,912	△9,914
株主資本合計	82,140	94,591
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	372	189
土地再評価差額金	△666	△805
退職給付に係る調整累計額	△485	△471
その他の包括利益累計額合計	△779	△1,087
純資産合計	81,360	93,503
負債純資産合計	262,053	265,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)
売上高	514,145	551,233
売上原価	364,012	384,178
売上総利益	150,133	167,054
営業収入	16,103	17,081
営業総利益	166,236	184,135
販売費及び一般管理費	158,054	162,985
営業利益	8,182	21,150
営業外収益		
受取利息	123	116
受取配当金	34	34
リサイクル収入	270	180
データ提供料	59	107
その他	271	398
営業外収益合計	759	837
営業外費用		
支払利息	205	168
その他	16	69
営業外費用合計	222	237
経常利益	8,719	21,750
特別利益		
受取補償金	—	262
受取保険金	14	4
固定資産売却益	—	2
資産除去債務戻入益	134	—
特別利益合計	149	269
特別損失		
固定資産除却損	58	326
減損損失	304	247
転貸損失	0	134
新型コロナウイルス感染症による損失	—	※1 82
店舗閉鎖損失	10	59
役員退職慰労金	100	—
災害による損失	88	—
その他	1	—
特別損失合計	564	851
税金等調整前四半期純利益	8,304	21,168
法人税、住民税及び事業税	3,639	7,485
法人税等調整額	△780	△743
法人税等合計	2,858	6,741
四半期純利益	5,446	14,426
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,446	14,426

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	5,446	14,426
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	△183
退職給付に係る調整額	83	13
その他の包括利益合計	91	△169
四半期包括利益	5,537	14,257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,537	14,257

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 新型コロナウイルス感染症による損失

前第3四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年11月30日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年11月30日)

新型コロナウイルス感染症拡大により、店舗などにおいて発生した商品廃棄損、消費費用や賃料減免によるテナント支援を新型コロナウイルス感染症による損失として特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年11月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他(注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	小売事業				
営業収益(注)1					
外部顧客への営業収益	529,661	587	530,248	—	530,248
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	1	831	833	△833	—
計	529,663	1,419	531,082	△833	530,248
セグメント利益又は損失(△)	8,752	△32	8,719	—	8,719

(注)1 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2 「その他」はクレジットカード事業等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年11月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他(注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	小売事業				
営業収益(注)1					
外部顧客への営業収益	567,649	665	568,314	—	568,314
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	1	1,071	1,073	△1,073	—
計	567,650	1,737	569,388	△1,073	568,314
セグメント利益	21,615	134	21,750	—	21,750

(注)1 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2 「その他」はクレジットカード事業等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。